

Divino inferno

[RODIN AND THE GATES OF HELL]

A FILM BY BRUNO AVEILLAN

WRITTEN BY ZOÉ BALTHUS AND BRUNO AVEILLAN

2018年ロダンウィーク 特別上映

「ディヴィノ・インフェルノ—そしてロダンは《地獄の門》を創った」

2018年11月3日(土・祝) 14:00-
4日(日) 11:00- 上映時間60分

| 全2回上映 各回、開場は30分前

静岡県立美術館 講堂

各回定員250名(申込不要、先着順、入場無料)

※ やむを得ない事情により内容の変更等が生じた場合は、速やかに美術館HPやFacebookでお知らせします。
お出かけ前にご確認ください。

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767
<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

arte



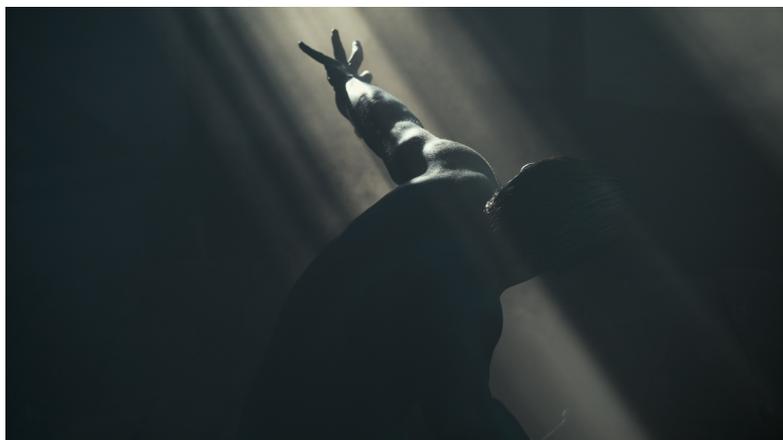
Les Bons Clients
SOCIÉTÉ DE PRODUCTION

NOIR

QUAD

Fix Studio

2018年ロダンウィーク。 パリで話題をさらった映画、静岡上陸！



©Droits réservés

2017年にロダン没後100年を記念して制作された映像作品、「ディヴィノ・インフェルノーそしてロダンは《地獄の門》を創った」を上映いたします。ロダンの《地獄の門》制作の過程を紐解くこの作品は、昨年のパリでの公開を皮切りに世界各国で上映されて好評を博し、日本でもロダンの100回目の命日にあたる2017年11月17日に国立西洋美術館で公開されて話題となりました。静岡での今回の上映は、東京に続く日本2カ所目となります。ロダン彫刻の展示スペースであるロダン館を有し、世界で6番目に鑄造された《地獄の門》を実際に鑑賞できる静岡県立美術館での上映は、ロダンをより身近に感じるまたとない機会を生み出すことでしょう。ぜひお見逃しなく！

オーギュスト・ロダン (1840-1917年)

19世紀を代表する彫刻家。パリに生まれ、素描算数専門学校で学んだ後、彫刻家カリエ＝ベルズのアトリエで働く。力強く写実的な造形を通じて人間の本质に迫る優れた作品の数々によって多くの芸術家に多大な影響を与え、近代彫刻の祖と称される。代表作《地獄の門》がブロンズ鑄造されたのはロダンの死後のこと。世界では現在、静岡県立美術館所蔵品をはじめとする8体が知られる。



静岡県立美術館とロダン

1986年、県立美術館は17世紀以降の東西の風景画を収集のテーマとして出発しました。その後、彫刻による人体表現にも目を向け、ロダンの代表作《カレーの市民》をエントランスホールに設置。これを契機にフランス国立ロダン美術館との間に友好関係が成立し、ロダン作品の収集・展示が開始されました。ロダン館の開館は、1994年3月。ガラス屋根から自然光が降り注ぐユニークなラグビーボール状の建築には、常時32体のロダン作品を展示し、世界でも屈指のロダンコレクションを堪能できます。



ロダン館内部

◎ ロダンウィーク期間中 (11月1日[木]~4日[日]) ロダン館観覧料無料。

上映作品

『ディヴィノ・インフェルノーそしてロダンは《地獄の門》を創った』

1880年、建設予定の装飾芸術美術館の門扉となる大型彫刻の注文を受けたロダンは、ダンテの『神曲』「地獄篇」を題材に《地獄の門》の制作に取りかかる。本フィルムは、ロダンが生涯を通じて取り組み続けた畢生の大作《地獄の門》の創造の道りを、横浜トリエンナーレへの出品で日本でも知られるミルチャ・カントルらアーティストたちの参加を得て、美術、ダンス、音楽、詩、文学を交差させた幻想的なヴィジョンでたどる。2017年、ロダン没後100年を記念する大回顧展を開催したパリのグラン・パレのホールでも上映。

監督：ブリュノ・アヴェイヤン
脚本：ブリュノ・アヴェイヤン ゴエ・バルテュス
共同制作：Arte France Les Bons Clients RMN-グラン・パレ
Quad FixStudio NOIR

劇中パフォーマンス：ミルチャ・カントル

《炎のドローイング—地獄の門—ロダンにならって》(2016年)

日本語字幕：中島さおり



©Droits réservés

<制作者紹介>



ブリュノ・アヴェイヤン

トゥールーズ国立美術学校に学ぶ。映像作家、写真家として国際的に活躍。近年ではカルティエ社のために制作したショートフィルム『カルティエのオデュッセイア』(2012年)がNYのMOMAでの試写会の後、カンヌ国際広告賞(カンヌライオンズ)の金賞をはじめ40に及ぶ国際的な賞を獲得。



ゴエ・バルテュス

美術・文芸批評家、作家、ジャーナリスト、写真家。アヴェイヤンと10年来、共同制作を行い、共に設立した出版社・制作会社ノワールでは編集長をつとめる。

©Droits réservés

ひとつのドキュメンタリーがロダンの《地獄の門》を開いてみせた。
Un documentaire nous ouvre la "Porte de l'Enfer" de Rodin.

ナタリー・ドゥレ (『レ・ジンロック』2017年4月2日)
Nathalie Dray (Les InRocks, 2 avril 2017)

交通のご案内

(運行時間については、交通各社時刻表をご確認ください)

- ◎JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分(料金100円)
- ◎JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- ◎JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- ◎静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- ◎東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

お問い合わせ 054-263-5755
静岡県立美術館HP
<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art